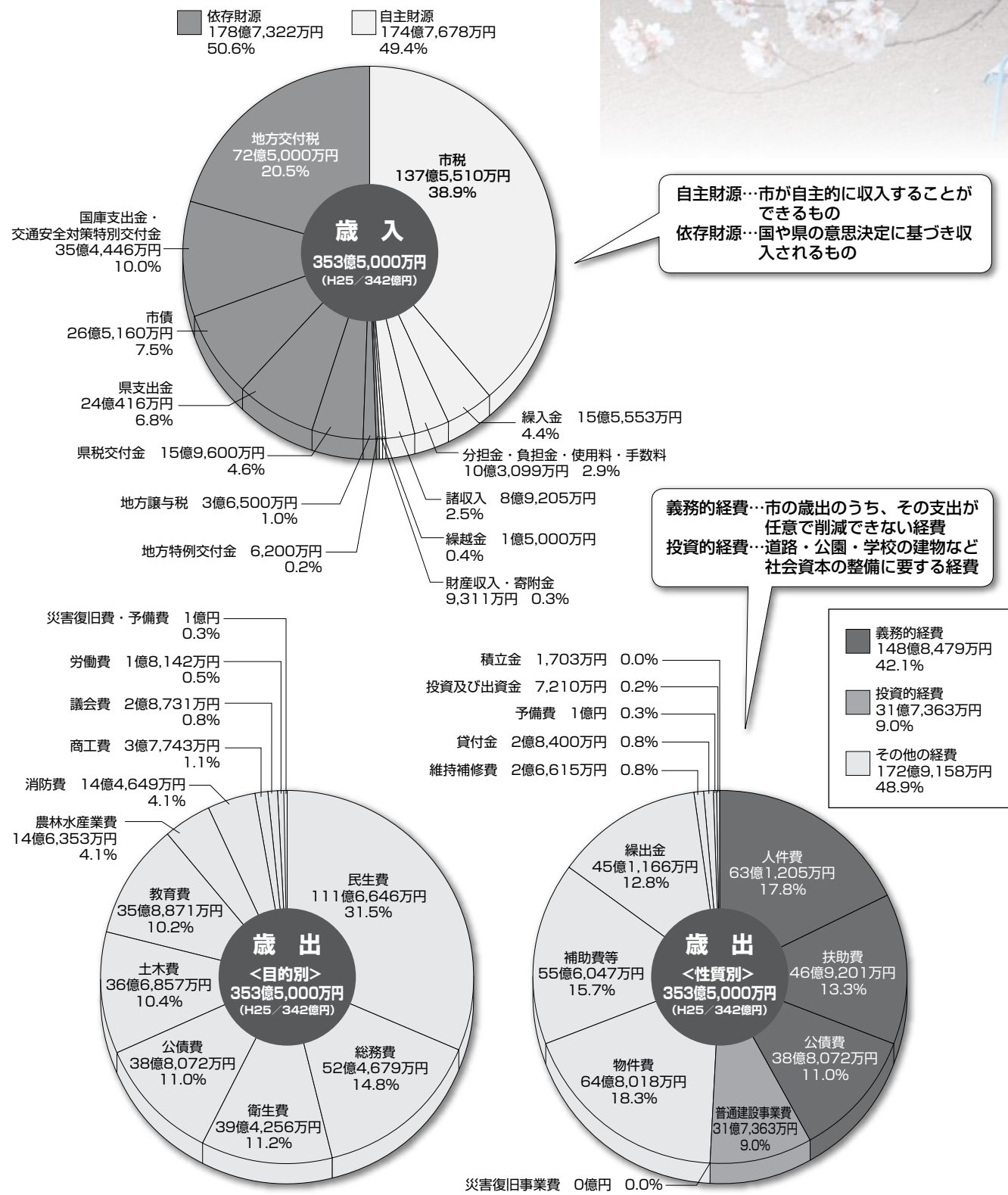


一般会計 市の基本となる会計

平成26年度当初予算

- 一般会計 353億5,000万円
(対前年度 +11億5,000万円 +3.4%)
- 特別会計 209億2,487万円
(対前年度 +7億3,946万円 +3.7%)
- 企業会計 55億6,606万円
(対前年度 +1億1,508万円 +2.1%)



※内訳について単位未満を四捨五入しているため合計が合わないことがあります。



平成26年度の予算が市議会定例会で可決されました。
今年度は、甲賀市が誕生し10年を迎えます。市民の皆様一人おひとりの心には、甲賀市民としての誇りが生まれ、目指すまちの将来像である「人 自然 輝きつづける あい甲賀」の姿に近づきつつあります。
このように、合併後のまちづくりの礎を築いていく中で、平成26年度予算は、市民の皆様が生活にさらなる幸せを実感いただける「生活感幸、加速」＝甲賀の國づくり予算＝として編成しました。
その概要や重点的に行う事業などをお知らせします。

私たちの甲賀市は今年、市制施行10年という大きな節目を迎えます。これまでの10年間、5つの地域の特色を活かし、多くの経験を学ぶとともに常に改革を遂行し、試行錯誤のうえ進化を遂げてきました。県下を先駆ける施策や、幾多の即時の対応が求められる事業にもスピード感をもって、愛を基本に「理想郷こうか」の実現のために臨んでまいりました。
合併後のまちづくりの礎を築いていく中で、「市民の幸せ」と「市の発展」に全力を傾注し、経済状況や市民生活



甲賀市長 中嶋 武嗣

施政方針(要旨)

前倒しにも柔軟に対応するなど、市民の皆さんが生活のなかでさらなる幸せを実感いただける「生活感幸、加速」＝甲賀の國づくり予算＝として平成26年度予算を編成いたしました。
特に「生活感幸」を加速させる取り組みとして4つのテーマに沿った70の重点事業を取りまとめ、今日までの「守る」「稼ぐ」「削る」に、新たに市政のキーワードとして長期的な視野を持った人材を育て次世代に備えるために「繋ぐ」を加えた市政運営を基本に、防災力を高め、財政力を強め、人材を育てることを最優先いたしました。
重点的に施策を推進する4つのテーマについて、市民皆さんの安心・安全を約束していくことは市政の根幹であることから、まず1つ目には「元氣と安心、みんなを守る甲賀の暮らし」を掲げ、安全・安心を守る絆づくり、インフラ整備を進めるとともに高齢者や障がい者等の自立や介護を支え、生涯を通じた健康づくりの充実を図ります。2つ目には、市の未来を拓くのは、子どもたちの健やかな成長が絶対条件

であることから、「学びと育ち、きずなが育む甲賀の未来」をテーマに、「子ども応援団」として、子育てや教育・保育の環境整備を充実させ、多様化する課題に対応していくこととします。
3つ目には、市が活力を持つためには、まずは市民の皆さんが元氣に生活していただかなければならないことから、「創造と交流、進化が生み出す甲賀の活力」をテーマに、雇用機会の創出と地域産業の振興、人や物の交流促進によって地域経済の活性化を図ります。
最後に、地域の魅力はその時代の人を介して次の時代へと伝承されるものであることから、4つ目のテーマを「魅力の伝承、誇りを伝える甲賀の宝」とし、地域コミュニティの育成支援や地域資源の創造と維持活用を行います。
また、昨年10月に経済圏を越えた新しい地域モデルとして「鈴鹿山麓無限の会議」を設立しました。今後も滋賀と三重の隣接する8つの市町の首長が、あらゆるテーマについて情報交換や提言を行いながら、日本のまん中にふさわしい地域づくりを行ってまいります。

甲賀の國づくり予算

生活感幸、加速

平成26年度
甲賀市
予算